

# 吉田久太郎



小矢部に帰ってきてきて楽しいです。

有限会社OSC小矢部車検センターは、車検整備が7割販売が3割といった車関係全般が仕事。そこで働く吉田久太郎さん。父親が経営する会社だ。

「タイヤをはずし、ブレーキをはずし、掃除して…。変えないといけない部品は変えます。」  
「ほくらは振動や音で車の不調が分かる。でも普通のお客様は、気付かない。だから本当にヤバくなってから持つてくるんです。」

車検は、ブレーキやワイパー等の項目が確認できれば通る。今は大丈夫でも、次ぎの車検まで持たないかもしれない。すると、逆にお金がかかってしまう。



吉田さんは、小矢部に戻るまでに3つの会社を経験した。一つ目は、大学在学時代からバイトをしていた内装の仕事。「最初の就職先はネクタイをしたくないという思いが強かったんです。」

2年後、東京のオフィス移転のマネージメント会社へ転職。事務所移転するときの引越、電気、電話配線、社内ランの配線、内装の提案、レイアウト、それを全部受け持つ営業だ。「次の仕事は、ネクタイを巻こう、ビジネススマナーを学ぼうと探しました。」

「この会社は体育会系のノリで、生きてきた中で一番怒られた時期です。」  
報道相、売上げ、営業のあり方、クレーム対応等、勉強させてもらう。

営業マンの楽しみは、契約をもらうこと。契約してもらえなかった理由は何か？自分は信頼されたのだろうか？  
「大きい仕事をするのは楽しかった。」

でも部署が変わり、自分の想いが組織の中でうまく馴染めなくなり辞めることに。  
「次はパソコンのことが全然分からなかったのでITを学ぼうと転職先を決めました。」

ベンチャー企業に就職。赤坂のアパートから始まり、渋谷に駆け上がる。マンパワーで、毎日早朝から深夜まで働く。土日はDM作業。  
「一度家に帰ると疲れすぎて寝ると起きれなくなっただけです。それで、週末以外は、会社の椅子で寝るように…。銭湯に行けない時は、蛇口の水で髪を洗っていました。」

ある日、家に帰っても眠れなくなった。月曜日になるのが嫌で嫌でうつになるんじゃないかと…。  
「何のために働いているんだろっ？」

働き方を変えようという行動するが、何も変わらない。目標もない。フェイスブックで同級生の話を見て、俺の人生は仕事で終わるのか…。それだけの人生はおもしろくない。  
「富山に帰ろう…。」

実家で働くのもいいかなって、思うようになる。  
実家の仕事は10年目。親父が、がんばろうって再出発した会社。

今までは仕事に追われるだけの人生だった。  
「小矢部に帰ってきて楽しいです。フットサルやスキーができる時間が生まれた。プライベート

トも充実しています。商工会や青年会議所にも参加して勉強させてもらっている。」

サラリーマンだと地域のことを考える時間がないが、今、小矢部のことを考えて盛り上げようとしている。  
「仕事は、まだまだべいべいです。」

二代目、三代目になると、自分のやっている家業と違うことをやろうとする人が多い。でも往々にして失敗するらしい。「自分は、今の仕事をしっかり固めてやっていかなければならない。今はそんな時期だと思っています。」

(株)OSC小矢部車検センター  
軽トラックからフェラーリまで各種  
新車中古車販売/車検・一般整備  
〒9332・0836  
富山県小矢部市埴生308  
TEL..07666・67・22333  
FAX..07666・67・24885

吉田久太郎  
1983年7月2日生  
父親のことは尊敬している。でもそれと同じくらい意見が合わず衝突することもあります。